

平成24年度 第2回二宮町地域環境推進員会議 会議録

日 時：平成24年11月28日(水)

午後2時～午後4時

場 所：二宮町役場2階 第1会議室

出席者：一色 橘川氏 / 百合が丘3丁目 平野氏 / 中里 原氏 / 元町北 小林氏 / 富士見が丘1丁目 横浜氏 / 富士見が丘2丁目 近藤氏 / 富士見が丘3丁目 石山氏 / 松根 野村氏 / 上町 高松氏 / 中町 小島氏 / 下町 柿沼氏 / 梅沢 松本氏 / 越地 石塚氏 / 茶屋 西山氏

葛川をきれいにする会 藤田氏

長尾町民生活部長

事務局：筑紫生活環境課長 / 須田生活環境班長 / 雨宮主事補

傍聴者：なし

1. 開会

2. 議題

- (1)葛川をきれいにする会活動報告等
- (2)町からの環境情報の提供について
- (3)地域環境推進員活動報告（意見交換）について
- (4)その他

(1) 葛川をきれいにする会活動報告等

事務局：本日は、葛川の清掃ボランティアを行っていただいている葛川をきれいにする会の藤田様に来ていただいておりますので、活動の状況についてお話を伺います。早速ですが、藤田様よろしくお願いたします。

藤田氏：葛川をきれいにする会の藤田です。議題が葛川をきれいにする会活動報告等ということですので、概略をお話いたします。この会は、平成13年の10月から活動を始めています。会が出来たきっかけは、平成12年か平成11年に100人委員会が町で設置され、その中で葛川をもっと綺麗にしたいと意見があがりましてスタートしたのがきっかけです。活動は8月、12月、1月、2月以外の残りの8か月で、毎月第一、第三土曜日に行いますので、年に16回。天候によって中止もあ

りますので、毎年 14、15 回やっています。集まってくる人は、ほとんどは 60 歳以上と言っていい状況です。現在、30 人弱の会員がいますが、人数は減ってきており、高齢化もしています。実際の活動では 1 回に 10 人から 15 人が参加します。川の中のごみと土手のごみを両方拾います。町内の葛川全体を 16 等分して、上流から下流までを 3 月から 11 月にかけて順に行います。取ったごみは分別して、橋のもと等、役場と決めた場所に置き、回収してもらいます。年間で集めたごみ量については、平成 16 年が 5.4 t、平成 17 年が 1.7 t、平成 18 年が 2.1 t です。平成 16 年度は、県の要請で土手の草を刈り、その重量も加えたため多いのですが、それを抜くと 4 t 程です。平成 14 年の 5.6 t と比べると減っていますが、近年また増えています。自転車などの重い物は減ってきていますが、ビニール袋に入ったコンビニ等のごみが目立っています。葛川をきれいにする会では、COD 測定という水質調査を年 4 回やっていますが、役場でも同様に水質を調査する BOD 測定を行っています。値が 5 より下回ると、川の水としては綺麗だと言えます。10 を超えると汚れています。川には鯉の他にも小魚が増えたり、去年は鮎が葛川を上ったり、川は綺麗になってきています。災害によって水道が止まった時に、飲料水は難しいが火事の際に放水に利用する等、葛川の水が生活の最低限に使えるようになれば一番望ましいです。また、子ども達に川を大切にしてもらうため、毎年二宮小学校 3、4 年生対象に川の授業を行っています。会では、このような活動を通して、神奈川新聞社から表彰されたこともあります。

【意見・質問等】

- 委員：清掃の日程や年間スケジュールを広報したり、地域環境推進員を班分けしたりして、月毎に参加させる等の案もあると思いますが、どうでしょうか？
- 藤田氏：会が発足した当初 2 年間は、清掃を行う箇所の近隣の家々に、清掃を呼び掛けるチラシを配りましたが、それを見て来てくれた人はほとんどいません。町のお知らせ版で広報をしていますが、地区の自治会長等を通して住民に協力を仰ぐというやり方も 1 つの方法だと思います。
- 委員：地域環境推進員会議や地区長連絡協議会等でもっとコミュニケーションをとった方が良いです。
- 事務局：各地域環境推進員に詳しい日程をお知らせする等、事務局の方で音頭を取りながらやらせていただきたいと思います。
- 委員：葛川は綺麗になりましたが、雑草が生い茂っているので、定期的に刈る等して欲しいです。綺麗になっていけば、人間の心理としてごみを捨てづらくなります。
- 委員：川底や川のカーブに溜まる堆積物を、除去する計画はありますか？
- 事務局：葛川は県の管轄の河川であり、維持管理の要望を出していますが県も財政状況が厳しく、中々そこまで立ちいかないのが現状です。

～葛川をきれいにする会の藤田氏、傍聴席へ移動～

(2)町からの環境情報の提供について

『湘南にのみや海岸530キャンペーン・5月地域清掃参加団体等、可燃ごみの月別処理量、廃食用油分別収集・実績、環境掲示板、水切り実験について説明』

【意見・質問等】

委員：昨年度、可燃ごみが4t増えたという事で、もう一度ごみ説明会を設けたらどうでしょうか？ごみ減量目標の50%削減が達成出来ていませんから、町民の協力を得るために必要です。

事務局：ごみの減量化、水分の削減を再度ご理解していただくため、来年度は地域の皆さまの所にお伺いして、お話をさせていただきたいと考えています。

委員：地域環境推進員の話等を環境掲示板に載せて、町民に理解してもらいたいです。

委員：収集車でごみを回収し圧縮する際に、水分を絞れるような仕組みに収集車を改修できませんか？1家庭で絞るにも限度があります。

事務局：収集車では、巻き込んで圧縮するので、絞られて相当、水は出ますが、水をごみ袋から出すための破碎させる程の圧力はかけられません。

委員：吸い込む際に、自動的に穴を開ける等の方法もあるのではないですか？そのような所まで考えて行かないと、ごみの削減量はある程度の所で止まってしまうのではないのでしょうか？

事務局：業者に確認してみます。

(3)地域環境推進員活動報告（意見交換）について

【意見・質問等】

委員：地域環境推進員会議は年に2回しかありませんが、委員同士の連携を深めるために、会議を年4回に増やすことは、できませんか？

事務局：会議は2回ですが、勉強会ということで2回設定させていただき、年4回あります。今年度あと1回ある勉強会の中で、委員の連携について検討していきたいと思います。

委員：委員を辞めても、その意識を持って次の委員をフォローする等を行えば、地域環境推進員の裾野が広がっていきます。そのように委員を意識付ける事も必要です。

委員：近い地区の者が一緒に巡回する等を定期的に行い、住民のごみに対する意識を高めるようなアピールが必要です。

事務局：そのようなことも、次回の勉強会の中で話し合えればと考えています。

委員：コンポストの活用、分別や水切りをしっかりと行くと、捨てるごみの量がとても少

なくなり、100のごみ袋を使うのがもったいないので、50のごみ袋が必要です。

委員：お年寄りが1人等の人数が少ない世帯には50は必要だと思います。

事務局：検討していきます。

委員：削減目標が住民に知れ渡っていません。現在、削減率は21%であり、住民に目標達成の協力を仰ぐPRが必要です。

委員：地域環境推進員として、地区からどのような仕事を受け持っていますか？私は、防犯灯がきれた時や道路の補修が必要な時、また空き地の草刈り等、環境に関する事を地域の住民から相談され、役場との間に立つ等の対応をしています。

委員：私は、梅沢の夢クラブという老人会が行う清掃の手伝いをしています。

委員：地区によって仕事内容は違うと思います。私の地区は、防犯灯については地区長に相談しています。

事務局：元々、地域環境推進員は、地区の役員ではありませんでしたが、仕事を行っていく中で地区との繋がりがないとやりにくいという事で、地区の役員にお願いした経緯があります。

委員：座談会等を開き、お互いに情報交換をしたらどうでしょうか？

事務局：地区の中でどのような仕事しているかアンケートを出させていただいて、皆様にご報告できるようにしたいと思います。

委員：私は町内を歩いて回り、綺麗になっている箇所があったら、月1回の自治会で褒めます。ごみが溜まっていて汚いと指摘するのではなく、先月より良くなりましたね。等、ムードを高めるような発言をしています。そうすると少しずつですが、綺麗になってきています。地域環境推進員は、自分達だけで町を綺麗にするのではなく、住民の美化に対するムードを高めるため、自治会等を通じて住民にPRし、協力してもらうようにすることが役目だと思います。

事務局：まさしくその通りです。

委員：地区によって特性があり立場が変わってくるので、その中で自分ができる事をやるぐらいで留めておいて良いと思います。

委員：生ごみの水切りを推進するのも良いですが、生ごみ処理機を使って生ごみを自分で処理する方に力を入れた方が、削減に繋がると思います。

事務局：今年は生ごみ処理機の補助金が足りなくなっている状況で、住民の生ごみ処理機に対する興味がまた湧いてきています。

(4)その他

事務局：勉強会について、剪定枝資源化施設の見学を計画していましたが、座談会も候補になります。勉強会について、何か要望はありますか。

【意見・質問等】

委員：剪定枝資源化施設の見学の後に、座談会を行えば良いのではないのでしょうか？

事務局：では、そのような形で予定させていただきます。また、指定ごみ袋がロール式から平袋式に変更しましたが、何か問題はありませんでしょうか？何か聞いていますか？

委員：大丈夫。使いやすいです。

委員：カラスの被害がある時、皆さんどうしていますか？

委員：ネットを被せています。また、ネットにシートを付けたり工夫しています。

委員：以前、役場にカラス対策の看板を作ってもらった事があり、効果があったので参考にさせていただきたいと思います。

事務局：以上で、本日の第2回の会議を終了いたします。

3. 閉会